

経営比較分析表（令和5年度決算）

青森県おいらせ町 国民健康保険おいらせ病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
25,148	3,817	第2種該当	-	10：1

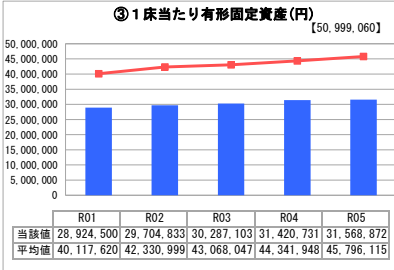
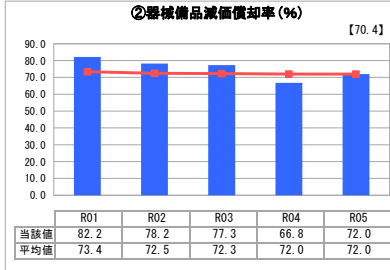
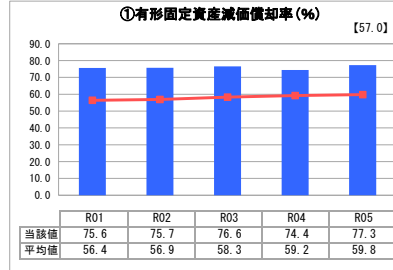
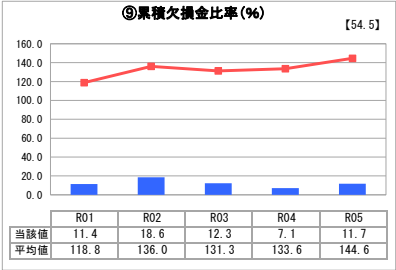
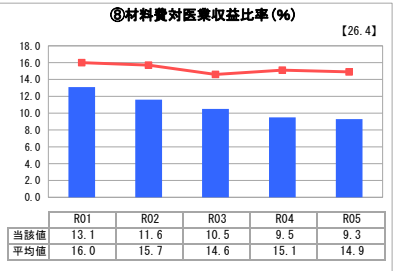
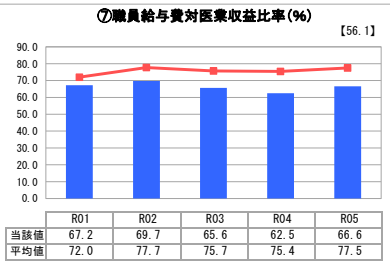
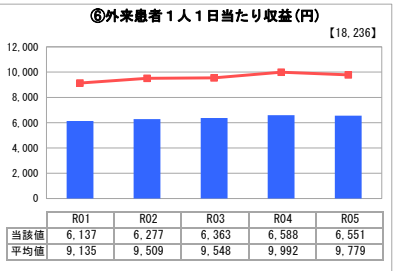
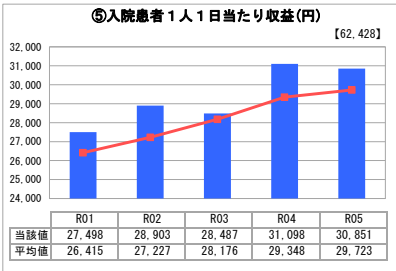
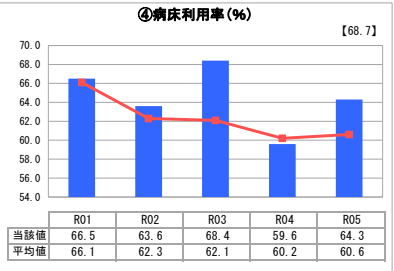
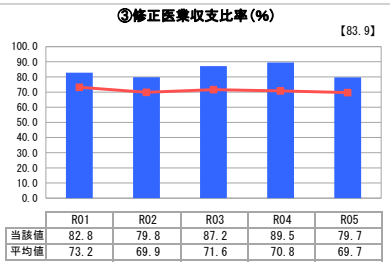
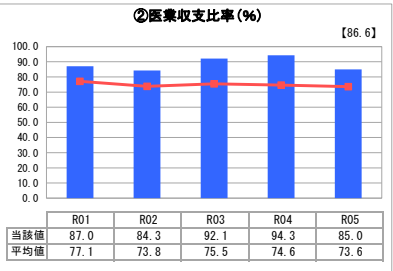
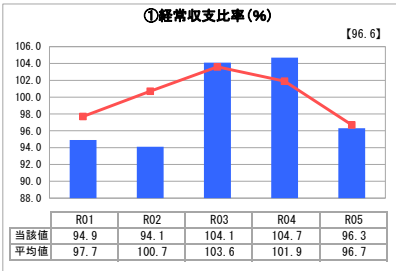
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
78	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	78
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
65	-	65

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
-	類似病院平均値（平均値）	
【	令和5年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

細分化・連携強化 （関係の可視化・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

少子高齢化と在宅医療ニーズの増加により、高齢者医療を中心とする地域病院としての役割を担うべく、町内の医療機関及び近隣の介護・福祉施設と連携して医療を進めている。
新型コロナウイルス感染症の5類移行後も発熱外来を継続するなど、地域の発熱患者の診療を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、前年度と比較し病床利用率の上昇により入院収益は増加したものの、外来収益が減少したことや、新型コロナウイルス感染症関連の収入の減少並びに物価高騰等による経費の増加などにより、経常収支比率は100%を下回り、累積欠損金が増大した。
類似病院平均値と比較して高い入院患者1人1日当たり収益の水準を今後も保ちつつ、地域に必要とされる新しい診療科を設けるなど外来患者数の増に努めることで、外来収益を確保していく。

2. 老朽化の状況について

建物は建築から40年以上経過しているが、大規模リフォームを2回実施し、耐震性もあるため、耐用年数までは補修で対応する。
現病院は青森県太平洋想定地震の浸水区域にあたり、医療体制の安全確保を図るため、移転建替を検討している。
また、器械備品においては精査し、必要に応じて更新・除却を行っている。

全体総括

医療圏の中核病院等との連携体制の強化に努めるとともに、一般病床と地域包括ケア病床とのバランスを見極めながら、急性期から一部回復期への病床機能変更を検討し、病床利用率の向上と効率的かつ効果的な医療体制の構築を図る。
また、在宅復帰した患者の訪問診療体制の強化及び地域のニーズに応えた診療科の増について推進することにより、外来患者数の増を目指し、収益を確保していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。